

4 調査、研究報告及び資料・情報等の発行

(1) 公刊した報告書等

報告書名	発行年月	備考
平成 29 年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告	2019 年 8 月	
平成 30 年度青森県産業技術センター水産部門事業概要年報	2019 年 8 月	
2019 年度浅海定線調査結果報告書	2020 年 3 月	

(2) 提供情報

情報名	期間及び回数
ウオダス漁海況速報 No. 2018～2053	2019 年 4 月～2020 年 3 月 (36 回、号外 33 回)
陸奥湾湾口海域のイカナゴ幼魚（コウナゴ）分布調査結果について	2019 年 5 月（6 回）
陸奥湾海況情報 No. 1234～1283	2019 年 4 月～2020 年 3 月（50 回）
ホタテガイ採苗速報 No. 679～678	2019 年 4 月～2020 年 3 月（19 回）
貝毒発生状況等速報	2019 年 4 月～2020 年 3 月（30 回）
陸奥湾の水温（東奥日報紙）	2019 年 4 月～2020 年 3 月（毎日）
ホタテガイ養殖管理情報	2019 年 4 月～2020 年 3 月（8 回）
令和元年ヒラメ稚魚分布密度調査結果について	2019 年 6 月～10 月（太平洋 2 回、日本海 4 回）
イカナゴ類夏眠場調査について	2019 年 9 月
令和元年漁期のハタハタ漁獲対象資源量の予測結果	2019 年 11 月（2 回）
付着生物（ユウレイボヤ等）ラーバ情報	2019 年 10 月～2020 年 3 月（11 回）

(3) 青森県水産研究情報 水と漁

発行番号	発行年月
第 31 号	2019 年 7 月
第 32 号	2019 年 12 月
第 33 号	2020 年 3 月

(4) 発表論文等

① 学会等での発表

- 1) 高津哲也, 中屋光裕, 神山晃汰, 亀井佳彦, 小林直人, 飯田高大, 野呂恭成: 陸奥湾における 1989～2019 年マダラ着底稚魚分布密度調査による加入量予測, 第 49 回北洋研究シンポジウム - 亜寒帯域における魚類の初期生活史研究と加入量予測の現状-, (2019.09).

- 2) 高 偉峰, 中屋光裕, 高津哲也, 竹谷裕平, 鈴木 亮, 野呂恭成: 津軽海峡周辺におけるキアンコウの初期生態, 第 49 回北洋研究シンポジウム -亜寒帯域における魚類の初期生活史研究と加入量予測の現状-, (2019. 09).
- 3) 小泉慎太朗: ホタテガイの内面着色発現と外套膜修復過程の組織学的観察. 令和元年度日本水産学会東北支部大会ミニシンポジウム. (2019. 10)
- 4) 杉浦大介・傳法利行: 青森県におけるアサリ資源. 令和元年度日本水産学会東北支部大会ミニシンポジウム. (2019. 10)
- 5) 野呂恭成: 津軽海峡のミズダコ、マダコの生態と漁業～ユニークな研究対象～. 日本水産学会東北支部大会特別講演. (2020. 02).
- 6) Daisuke Sugiura: Gonad development of urchins *Heliocidaris crassispina* and *Mesocentrotus nudus* in the Japan Sea coast of Aomori, northern Japan. 令和 2 年度日本水産学会春季大会. (2020. 03)
- 7) 佐久間 啓, 藤原邦浩, 後藤常夫, 上田祐司, 三浦太智, 奥山 忍, 阿部 幸, 大江貢弘, 川畑達, 成松庸二: マダラの系群間に見られる成長・回遊の違い, 令和 2 年度日本水産学会春季大会, (2020. 03).
- ②その他の投稿
- 1) 長野晃輔, 三浦太智, 桜井泰憲: 青森県のタコ籠漁業における小型個体脱出用リングの有効性の検証, 水産工学, 56 (1) , 27-33, (2019. 07) .
- 2) Warwick H. Sauer, Ian G. Gleadall, Noro Kyosei, et al. : World Octopus Fisheries, Reviews in Fisheries Science & Aquaculture. <https://doi.org/10.1080/23308249.2019.1680603>, 1-151. (2019. 12).
- 3) 高偉峰, 中屋光裕, 高津哲也, 竹谷裕平, 野呂恭成: 下北半島周辺および噴火湾で採集されたキアンコウ仔魚の食性 (英文) , 水産増殖, 68 (3) , 275-277, (2020) .